



これまでの学習より

4年生が国語の時間に取り組んだ「お礼の気持ちを伝えよう」について紹介します。これは、お世話になった方への感謝の気持ちを手紙の型に沿って伝える学習です。

手紙は、「初めのあいさつ（季節に関する言葉や自分の紹介）」、「本文（伝えたいこと）」、「結びのあいさつ（相手を気づかう言葉）」、「後づけ（日付けや自分の名前）」の4つ型から成り立っています。

4年生は、最初にこの型を学習した後、だれにどんなことを伝えるのかを考えました。そして、ていねいな言葉を使って、一文字一文字心を込めて書きました。



最近では、メールの文化が広まり、手紙を書いて気持ちや思いを相手に伝えることが少なくなりました。正式な手紙の型、そして、手紙で思いを伝えることのすばらしさを知った4年生。とても大切なことを学びましたね。

2年目を迎えたコミュニティ・スクール

昨年度、二宮小学校は「学校運営協議会」を設置し、コミュニティ・スクールとしてスタートしました。コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校づくりを進める仕組みのことです。

～第1回学校運営協議会(7月29日)～

地域の方々や保護者代表、学校代表（校長、教頭、教務主任、事務）からなる14名の委員で協議を行いました。

学校運営協議会の役割の一つとして、「校長が作成する学校運営の基本方針を承認する」があります。そのため、1回めの柱としての、本校の学校運営方針、学校教育目標とめざす子どもの姿、そして3つの重点（①学習指導の充実 ②心をはぐくむ指導の充実 ③健康・安全指導の充実）が承認されました。このことは、二宮小学校がどのような子どもを育てていこうとしているのかについて地域と共有し、学校と地域が一体となって子どもを育てていく「地域とと

もにある学校」を目指すためです。

～第2回学校運営協議会(9月11日)～

昨年度、本校の教育にご協力いただける地域の方を把握するためにアンケートを行い、25名の方が手を挙げてくださいました。このアンケートは、学校と地域がこれまで以上に協力して子どもたちの成長に関わっていくことをめざして行ったものです。

この日の協議では、アンケートの結果から、また、すでに本校の教育にご協力いただいている方々の活動から内容を整理し、5つの班を立ち上げて活動を進めていくこととしました。学校運営協議会としての主な役割は、すでにご協力いただいている方々が、そして新たにご協力いただく25名の方々が、活動しやすいようにサポートし、調整していくことです。

その5つの班とは以下ようになります。

- ①登下校の見守り班
各地区で行われている見守り活動の現状を把握し、子どもたちにとってより安心・安全となる見守りについて考える。
- ②校内環境整備班
校内の環境美化を中心に、子どもたちの成長につながる環境づくりについて考える。
- ③授業支援班
授業において、子どもたちが視野を広げ、豊かな体験ができる場となるよう協力していただく方々の調整を行う。
- ④放課後の子どもの居場所づくり班
町生涯学習課主催の「放課後子ども教室」とタイアップし、子どもたちと地域の大人とのふれ合いを通じた居場所づくりについて考える。
- ⑤その他諸々の内容を担当する班

9月も今日で終わります。それと同時に、今年度も半分が過ぎ、明日からは年度の後半となります。

今年度前半は、2か月にも及ぶ臨時休業に始まり、6月からの分散登校による学校再開、教職員の配膳による給食再開、2週間余りの夏休みなど、これまで経験したことのない半年でした。後半も感染リスクに注意を払いながらの教育活動になりますが、校外学習や、にのりピックなど教室の外での学び、そこでしか得られない学びも大切にしていきたいと思っています。



